

平成30年6月定例会 総務委員会（事前）

平成30年6月12日（火）

〔委員会の概要 県民環境部関係〕

喜多委員長

休憩前に引き続き、委員会を開きます。（11時49分）

これより、県民環境部関係の調査を行います。

この際、県民環境部関係の6月定例会提出予定議案等について、理事者側から説明を願うとともに、報告事項があれば、これを受けることにいたします。

なお、理事者各位に申し上げます。

当委員会において、議案等の説明及び報告の際には、座ったままでなされますよう、よろしく申し上げます。

【提出予定議案等】（説明資料）

- 議案第1号 平成30年度徳島県一般会計補正予算（第1号）
- 報告第1号 平成29年度徳島県繰越明許費繰越計算書について

【報告事項】

- 保育所等入所待機児童数（速報値）について（資料1）
- 東京オリンピック・パラリンピックに向けたキャンプ地誘致の状況について
(資料2)

板東県民環境部長

それでは、お手元にお配りしております総務委員会説明資料によりまして、6月定例会県議会に提案を予定しております県民環境部の案件につきまして、御説明を申し上げます。

今回、御審議いただきます案件は、平成30年度一般会計補正予算（案）並びにその他の議案等といたしまして、平成29年度繰越明許費繰越計算書となっております。

説明資料の1ページをお開きください。

一般会計歳入歳出予算についてでございます。

補正総額につきましては、総括表の一番下の計欄、左から3列目に記載のとおり8,500万円の増額をお願いいたしておりまして、補正後の予算総額は、その右の欄のとおり、152億2,986万1,000円となります。補正額の財源内訳につきましては、括弧内に記載のとおりでございます。

次に、主要事項につきまして、御説明申し上げます。

2ページをお開きください。

県民スポーツ課関係でございます。

目名、体育振興費、摘要欄①の県民総体育推進費では、ラグビーワールドカップ2019において、ジョージア代表チームの事前チームキャンプの受入れに向け、屋内外のトレーニング環境の整備を行う経費として5,500万円を、2020年東京オリンピック・パラリンピックでの事前キャンプ地誘致に向け、本年秋、カヌーのドイツ代表チームのトレーニング

キャンプを受け入れるため、那賀町川口ダム湖において、カヌーコースの整備などを行う経費として3,000万円をそれぞれ計上しております。補正後の県民スポーツ課の予算総額は、14億5,195万4,000円となります。

3ページを御覧ください。

その他の議案等につきまして、御説明いたします。

平成29年度繰越明許費繰越計算書についてでございます。

去る2月の定例県議会で御承認を頂きました繰越明許費につきましては、その後の事業進捗に努めました結果、3ページ左から4列目の翌年度繰越額欄の最下段に記載のとおり2億6,400万9,000円に確定いたしました。その内訳といたしまして、課名と事業名を記載しております。

今議会に提出を予定いたしております案件の説明は、以上でございます。

続きまして、2点御報告させていただきます。

お手元の資料1を御覧ください。

保育所等入所待機児童数（速報値）についてでございます。

本年4月1日現在の本県における待機児童数は33名で、昨年と比べ61名の減となっております。なお、市町村ごとの内訳は、記載のとおりでございます。

県におきましては、引き続き保育所等の整備による受皿の拡大を図りますとともに、保育士確保の取組を一層強化し、1日も早い待機児童解消に向け取り組んでまいります。

次に、東京オリンピック・パラリンピックに向けたキャンプ地誘致の状況についてでございます。

お手元の資料2を御覧ください。

本県では、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けて、ドイツのホストタウンとして、ドイツ代表チームのキャンプ地誘致に取り組んでいるところですが、その進捗状況について、2点御報告させていただきます。

まず、ドイツ柔道連盟による視察についてであります。

先月19日から22日まで、ペーター・フレーゼ会長をはじめ、ドイツ柔道連盟の方々をお迎えし、ソイジョイ武道館や宿泊施設を御視察いただきました。

その際、本年11月に開催される柔道の世界大会、グランドスラム大阪の事前キャンプを本県で実施する、本年秋に2020年東京オリンピックの事前キャンプ実施に関する基本協定を締結したいとの御提案を頂いたところです。

次に、ドイツカヌー連盟との「覚書」締結についてであります。

先月26日、ドイツ・デュースブルクにおいて、ドイツカヌー連盟及び徳島県、那賀町の3者が日本カヌー連盟会長の立会いのもと、覚書を締結いたしました。

その内容は、本年、那賀町において、2020年東京オリンピック・パラリンピックに向けカヌー代表チームがトレーニングキャンプを実施する、2019年のトレーニングキャンプ及び2020年東京オリンピック・パラリンピック事前キャンプ実施に向け、前向きに協議を進めることについて合意するものであります。

キャンプ地誘致については、いよいよ具体的な成果が現れているところであり、今後も実現に向け、しっかりと取り組んでまいります。

報告事項は、以上でございます。

御審議のほど、よろしくお願い申し上げます。

喜多委員長

以上で説明等は終わりました。

午食のため、休憩いたします。（11時54分）

喜多委員長

休憩前に引き続き、委員会を再開いたします。（13時04分）

これより質疑に入ります。

それでは、質疑をどうぞ。

岡委員

1点だけお伺いしたいと思います。

予算説明資料2ページの体育振興費のところ、ラグビーワールドカップ2019「事前チームキャンプ」受入環境整備事業と川口ダム湖カヌーコース整備事業ですけれども、もうちょっと中身を具体的にということと、この予算が通った後のスケジュールをお教えいただきたいと思います。

秋山国際スポーツ大会室長

ラグビーワールドカップ2019「事前チームキャンプ」受入環境整備事業と川口ダム湖カヌーコース整備事業に関する、それぞれの具体的な説明ということで御質問いただいております。

まず、ラグビーワールドカップ2019「事前チームキャンプ」受入環境整備事業につきましては、ラグビーワールドカップの事前チームキャンプに必要なトレーニング機器の整備に4,000万円でございます。4,000万円のうち2,500万円につきましては、事前チームキャンプに必須とされるトレーニング機器の整備、残りの1,500万円につきましては、県民の方々が利用していただけるような機器を中心にそろえていく予定でございます。加えまして、芝刈り機、芝を吸い取るスイーパー、それを収納いたします倉庫のような芝の管理備品につきまして1,500万円を出ささせていただいております。

スケジュールにつきましては、トレーニング機器に関しましては、本年12月にジョージアナショナルチームマネージャーの視察が予定されておりました、この視察までにトレーニング機器の整備が必要となっております。芝刈り機とその関連機器及び収納用倉庫につきましては、芝生の引渡しが12月末でございますので、1月以降の管理に間に合うようにそれぞれ配備が必要となっております。

調達スケジュールといたしましては、トレーニング機器、管理用備品、いずれも予算をお認めいただいた後、早急に調達手続に入りまして、8月又は9月に一般競争入札を予定しております。そして、秋には業者の決定、11月頃に納品という形で予定してございます。

続きまして、川口ダム湖カヌーコース整備事業ですけれども、こちらのほうにつきましては、那賀町が事業主体となって整備を行うものでございます。

総事業費は6,000万円でございます。県是那賀町に対し事業費6,000万円の2分の1を補助するというような形でございます。3,000万円を計上させていただいております。内訳につきましては、カヌーのコースの整備につきまして4,500万円、指導者用のボートの借上げなどの環境整備につきまして1,500万円、計6,000万円が事業費の総額となっております。

スケジュールにつきましては、補助事業者的那賀町と連携いたしまして、今年の秋にドイツのカヌーのトレーニングキャンプが行われますので、こちらに間に合うように整備を進めてまいりたいと考えております。

岡委員

機器のほうですけれども、ジョージア代表チームの方が来られるということなので、メーカーの指定とかは特になのかというのが気になったのと、カヌーのコース整備のほうは、どのような形でされるのか。例えば、先ほどラグビーワールドカップのほうの機器の納入などは入札されるということですのでけれども、カヌーのコース整備についてはどうなのか。やっぱり特定の業者でないとできないのかとか、入札で業者選定してこういうふうに進めたいというふうなことをお話しするのか、お聞きしたいと思います。

秋山国際スポーツ大会室長

業者の指定につきましては、ジョージアのほうから指定がございまして、エレイコなど、世界的に標準的な企業の機器を御指定いただいております。こちらにつきましては、御指定に沿うような形で準備をしたいというふうに考えております。ただ、メーカーの指定でございますので、扱う事業者につきましては、どこも入れるところがあるかと思っておりますので、一般競争入札で対応できるかというふうに考えております。

それから、カヌーのコース整備につきましては、国体等のカヌーのコース整備をしておりますヒカリという事業者が非常に有名でございます。現時点で、こちらのほうと那賀町が協議を行っているというふうにお聞きしております。

岡委員

やっぱり機器というのは、多分使い慣れたものであったりとか指定があるんだろうと思ったんですけれども、できる限りいろんな方に、納入であったりチャンスがあるようにということをお願いをしておきたいと思っております。一般の方が使う分には当然、普通の指定がないような入札になるんですね。また分からないことがありましたら、聞くか、付託委員会でもお聞きするかもしれませんので、よろしくお願ひします。

元木委員

岡委員の質問の関連で、少し疑問点をお伺いさせていただきます。

御説明の中で、トレーニング機器が4,000万円で、うち1,500万円が県民が利用ということでございます。今スポーツ熱も高まって、いろんなトレーニングを個人で積極的にされている県民の方もたくさんおいでになりまして、今回の機器の導入を契機といたしまして、平時の活用ということに一点置いて、取り組んで考えていったらいいのではないかと

思っておるところでございます。

まず、平時において、どういった活用をしていきたいと考えておられるのかといった点、そして鳴門市ですとか近隣の市町の負担、また受益者負担についてどうお考えになられているのかといった点について、基本的な認識をお伺いできたらと思います。

秋山国際スポーツ大会室長

トレーニング機器の県民の利用について、御質問いただいております。

先ほどの説明についての追加ですけれども、決して2,500万円のジョージアのキャンプに係る機器というのは専用ではございませんので、2,500万円と申し上げました機器につきましても、県民の皆様に使っていただきたいと考えてございます。

平時の利用につきましては、事前チームキャンプで整備いたしました新しい機器、専門的な機器を、是非県民の皆様にご活用いただき、健康増進等に使っていただいたり競技力の向上に使っていただけたらと考えております。

松本県民スポーツ課長

この度、整備いたしますラグビー関係での機器等につきまして、一般の方々に使っていただく場合におきましては、現在、指定管理を委託しております一般財団法人徳島県スポーツ振興財団が機器を管理して、貸し出すということをやっております。その中で、現在も使用料を頂いておるわけですけれども、今度、新しく機器を充実させたり増やしたりということになりますので、それを前提にした適正な使用料につきまして、財団のほうでも決定いただきながら適正な受益者負担という形でお願いしたいと考えております。

元木委員

本県も糖尿病の死亡率が再び全国ワースト1位になったこととか、子供の肥満が増えておるとか、いろんなことが言われる中で、これからますます県民の方々の健康志向や体力向上に向けた取組も期待が高まってくるのではないかと思います。競技力の向上と幅広い県民の方に対する健康増進、体力向上といった点を、うまくバランスを取っていただきたい。

私は県西部の出身でございますので、県西部のほうでも、やはりこういった取組に連動して、トレーニング機器を有効に活用できるような場も是非作っていただくような検討もしていただきたいと願う次第でございます。

この事業が、オリンピック・パラリンピック等が終わった後も有効に使われるような取組を、是非進めていただきたいと要望して終わらせていただきます。

喜多委員長

ほかに質疑はありませんか。

（「なし」と言う者あり）

それでは、これをもって質疑を終わります。

以上で、県民環境部関係の調査を終わります。

議事の都合により、休憩いたします。（13時14分）